

令和7年度
消防ポンプ自動車
仕 様 書

東広島市消防局

第1 総則

- 1 この仕様書は、東広島市消防局（以下「本市」という。）が令和7年度に購入する消防ポンプ自動車（以下「車両」という。）の製作に必要な仕様について定める。
- 2 車両は、道路運送車両法（昭和26年法律第185号）及び道路運送車両の保安基準（昭和26年運輸省令第67号）に適合し、緊急自動車としての承認を得られるものであること。
- 3 受注者は、契約を締結した日から14日以内に本市担当者と詳細について打ち合わせを行うこと。また、打ち合わせを実施した日から90日以内に、第2提出書類の1で定める書類を提出し、承認を得た後に製作に着手すること。
- 4 受注者は、本仕様を熟知した上で、契約するものとし、製作中に疑義が生じたときには、本市担当者に連絡し、その指示又は承認を受けること。
- 5 受注者は、前の3で承認を得た製作工程表及び製作承認図面等に変更が生じたときは、事前に変更後の製作工程表及び製作承認図面等を提出し、本市の承認を得なければならない。
- 6 車両の製作は、この仕様書及び製作承認図等（契約後受注者にて製作すること）によるほか、消防ポンプ自動車の規格並びに動力消防ポンプの技術上の規格を定める省令に従うこと。
- 7 車両は、消防用車両の安全基準検討委員会が定める「消防用車両の安全基準について」の項目を満足し、製造工場については品質管理システム（IS09001認証取得）を構築していること。
- 8 受注者は、製作全般にわたり厳重な検査を実施すること。
- 9 受注する車両（付属品及び積載品を含む。）は、全て新規製品とすること。
- 10 この仕様書において、指定したもの以外の装備品等については、メーカーが公表した標準装備品等を装備するものとする。
- 11 受注者は、設計・製作・材料・部品等に関し、特許その他権利上の問題が発生した場合には、その責任を負うこと。
- 12 受注者は、車両納入後においても、本車両に係る本市担当者からの修理の要請に直ちに対処するものとする。
- 13 車両の保証期間は、納入後1年間とする。ただし、メーカー等で定める保証期間が1年以上の場合は、メーカーの定める期間とする。また、保証期間経過後においても、設計不良、工作不良又は材質不良に起因する故障が生じた場合には、発注者の指示により、受注者において無償で修理又は取り替え等その他の必要な補償を行うこととする。
- 14 その他艤装部分、積載品、付属品等については、納入日から起算して各メーカー規定の保証期間とする。
- 15 車両は、緊急消防援助隊設備整備費補助金交付要綱（平成18年4月1日消防消第49号）に定める規格に適合すること。

第2 提出書類

- 1 受注者は、契約を締結した日から14日以内に本市担当者と詳細について打ち合わせを行い、契約を締結した日から90日以内に、次の書類を提出すること。
 - (1) 製作工程表 2部
 - (2) 製作承認図（前後、両側面、上部の5面） 各2部
 - (3) 電気配線図 2部
 - (4) ポンプ艤装図 2部
 - (5) ポンプ配管系統図 2部
 - (6) 諸元明細表 2部
 - (7) 標準取付品及び付属品一覧表 2部
- 2 受注者は、納入時に次の書類を提出すること。
 - (1) ポンプ取扱説明書 1部

(2) 車両取扱説明書	1部
(3) ポンプパーツリスト	1部
(4) ポンプ性能試験成績表	1部
(5) 受託試験合格及び安全基準適合プレート（写し）	1部
(6) 工程写真	
ア 製作中各工程（シャシ、組立中、塗装後）	2部
イ 試験実施工程（転覆角度試験、重量実測試験、走行試験）	2部
(7) 転覆角度実測証明書・重量実測証・走行試験結果報告書	各1部
ア 製作中各工程（シャシ、組立中、塗装後）	2部
イ 試験実施工程（転覆角度試験、重量実測試験、放水試験、走行試験）	2部

第3 購入台数

1台

第4 納入期限

令和8年3月31日（火）

第5 納入場所

東広島消防署東分署

第6 車両概要

車両は、第7で定める車両シャシに水ポンプを装備し、河川、消火栓等の水利より強力な放水をなし、一般火災に対し速やかに活動できるものとする。また、排気ガス浄化装置は、放水を継続しながら再生ができること。

第7 車両シャシ

シャシ及びエンジンは、日本消防検定協会の消防検定に合格した3t級消防ポンプ自動車専用シャシであり、次の条件等を満たすこと。

- 1 ダブルキャブオーバー型で消防ポンプ自動車に適したものとする。
- 2 車両の完成寸法は、次のとおりとする。
 - (1) 全長 : 6,000mm以下
 - (2) 全幅 : 1,940mm以下
 - (3) 全高 : 2,900mm以下
- 3 艤装は総合的な重量軽減を図り、車両重量のバランスを考慮して製作し、前項の寸法を可能な限り短くすること。また、準中型免許で運転可能な車両総重量（7.5t未満）に抑えること。
- 4 ホイルベース : 2,500mm以上2,800mm以下
- 5 エンジン : 排気量2,990cc以上・ディーゼルエンジン
- 6 消防検定出力 : 110kW以上
- 7 駆動方式 : 4輪駆動
- 8 ステアリング装置 : パワーアシスト付き
- 9 変速機 : オートマチックトランスミッション又はマニュアルトランスミッション
- 10 乗車人員 : 5名（前席2名、後席3名）
- 11 PTO : 水ポンプ用PTO
- 12 バッテリー : 各電装品に見合う容量以上のもの
- 13 令和7年度製造車両
- 14 タイヤ : 標準タイヤ
- 15 スペアタイヤ : ホイル付き1本

- 16 サンバイザー（運転席及び助手席）
- 17 フロアマット：前後席足元
- 18 サイドバイザー（各ドア）
- 19 泥除けゴム：全輪
- 20 チルト装置：電動油圧式・警報音付き
- 21 GPSナビゲーションシステム
- 22 バックモニターカメラ
- 23 オイルパンヒーター：マグネット式 コード（10m）1本付き
- 24 スタッドレスタイヤ：ホイール付き6本
- 25 タイヤチェーン：シングル1式
- 26 停止表示板：1式
- 27 エアコン：1式（メーカー標準装備）
- 28 標準工具：1式
- 29 非常信号灯：1式
- 30 安全装置：1式（メーカー標準装備の安全装置を全て装備）
- 31 ドアミラー：助手席側電動格納式
- 32 ナンバーフレーム：前後1式（ステンレス製）
- 33 ナンバー灯：LED
- 34 路肩灯：LED
- 35 ヘッドライト：HID又はLED
- 36 フォグランプ：フロントバンパー埋込式（LED）
- 37 テールランプ：LED
- 38 バックランプ：LED
- 39 集中ドアロック（全ドア）
- 40 パワーウインドウ（全窓）
- 41 オイルジャッキ：1式
- 42 不凍液注入装置
- 43 メッキグリル

第8 水ポンプ装置

- 1 動力消防ポンプの技術上の規格を定める省令に適合し、1段ポリュート式ポンプ又は2段バランスタービンポンプ（同等性能可）とし、次に掲げるポンプ性能とする。ポンプ材質は車体全体の軽量化及び耐腐食性を考慮すること。
 - (1) ポンプ性能：A-2級以上（吸水管75mm×2本）
 - (2) 規格放水圧力0.85Mpaにおいて規格放水量2,300L/min以上
 - (3) 規格放水圧力1.40Mpaにおいて規格放水量2,000L/min以上
- 2 水ポンプは、シャシエンジンからP.T.O（パワーテイクオフ）により駆動され、操作は運転席及び左右ポンプ操作装置に設けたスイッチにより行うものとする。
- 3 軸受部の気密閉は、メンテナンスフリーのメカニカルシール構造とすること。
- 4 軸受部は、グリスの給脂が不要なグリスレスタイプとすること。
- 5 駆動系統は、水ポンプ運用時において異音及び振動等を発生しないように適切に取り付けること。
- 6 水ポンプは、振動により異常をきたさないようシャシフレームに確実に固定すること。
- 7 自動放口閉そく弁、逆止弁、止水弁等を設けること。
- 8 ポンプ使用後の残水は、P.T.O（パワーテイクオフ）切断とともに自動的に排水できること。
- 9 ドレンの各配管の排出弁は、吸水系統と吐水系統に色分けし集中操作できること。
- 10 ポンプ室内にLED照明灯を必要数設けること。

11 ポンプ室点検口をポンプ室上部及びその他必要箇所に設けること。

第9 真空ポンプ

- 1 真空ポンプは最高真空度が高くより高落差からの揚水が可能なピストン式真空ポンプ又はロータリー式とすること。落水防止のため揚水後は、0.2Mpa以上で待機するよう自動スロットルアップすること。（自動スロットルアップが必要な場合に限る。）
- 2 真空ポンプは積載スペース確保及び軽量化の観点から極力小型化し、最大の真空性能を発揮できる配管系統とすること。
- 3 動力の「接」「断」は電磁クラッチによる構造とし、動力伝達については歯付ベルト、ギヤ式又はVベルト方式により円滑な伝達が行なえること。
- 4 真空ポンプが故障した際でも揚水できるように非常時揚水装置を設ける又は真空ポンプ2基掛けとすること。
- 5 操作は押ボタン式スイッチによるものとし、非常用の別系統スイッチ、非常用圧力計・連成計を車両右側に設けること。
- 6 吸水配管内の空気だまりを効果的に排出するエアチャンバ方式又は空気だまりを低減させるレイアウトとすること。
- 7 真空性能は、吸管外端閉塞にて30秒以内に大気圧の84%とする。

第10 冷却水装置

- 1 ギヤケース及びサブラジエターへ配管し、水ポンプからの水で冷却できること。
- 2 2系統の回路にそれぞれストレーナを設け、1つのコックで回路の切換え及び閉並びにドレンができる又は2系統それぞれにバルブを設け操作できること。

第11 安全機能付ポンプ操作装置

ポンプ操作装置は車体左右に設け、操作員が容易にかつ安全にポンプ操作が行えるよう、次の機能を有すること。

- 1 圧力計・連成計（リタード式）はステッピングモータを用いた電子式（透過光照明灯・ゲージ部作動確認ランプ付）とし、配管の凍結がなく、振動等でも針振れがない構造とすること。
- 2 ポンプスロットルは、電子式スロットルとし、スロットルの作動状態については、左右ポンプ操作装置の中央に設けた多目的表示液晶ディスプレイに表示すること。
- 3 多目的表示液晶ディスプレイは、7インチ以上のワイドタイプとし、高輝度低反射パネル及び自動調光機能付きとし、文字の視認が容易にできること。また、現場到着後に速やかに活動ができるように液晶が起動できること。（氷点下でも使用可能とする。）
- 4 ディスプレイ内の各表示切換はタッチパネル式又はパネルスイッチ式により行えるものとする。
- 5 ポンプスロットルは、誤作動を防止するために左右とも右回転でスロットルアップすることとし、安全ロック機能を設けること。また、ポンプ操作装置電源投入時には自動でアイドルリングになること。
- 6 非常時における真空ポンプ及びスロットル操作は、車両右側の別回路の手動操作でできること。
- 7 多目的表示ディスプレイの詳細は、次のとおりとすること。
 - (1) 取扱表示
機器取扱・点検整備・故障対策等を文書で表示ができること。
 - (2) モニタ表示
警告モニタとして冷却水及び真空形成装置作動タイムに対する警告ができ、かつ、警報ブザーが鳴るようにすること。また、各ボールコックの開閉状況、揚水・放水の状況確認及びポンプ回転計・ポンプ圧力計・ポンプ連成計を各々デジタル数値によりモニタ表示が

- できること。
- (3) 流水表示
各ボールコックの開閉状況、ポンプの運転状況及び放水時における水の流れる状況が把握できる流水表示ができること。
- (4) 流量・積算表示
各吐出口の流量をデジタル表示し、流量範囲（筒先を1人持ちで放水できる範囲、2人持ちで放水できる範囲、2人持ちでも放水できない範囲）によって表示色が変わること。
- 8 ポンプ操作装置には、隊員の安全を確保するため、次の安全機能を設けること。
- (1) スロットル固定機能
不用意にスロットルに触れてもエンジン回転の上昇を防ぐようスロットル固定機能を設けること。ただし、固定した場合でも安全方向（スロットルダウン）には操作できること。
- (2) 自動調圧機能
手動にて任意の圧力に上昇させた時点で設定する方法とあらかじめ設定された圧力をワンタッチで選択する操作方法が併用できること。自動調圧機能を解除する場合は、スロットル操作をした場合に自動的に解除される構造にするとともに手動（ワンタッチ）でも解除できる構造とすること。
- (3) 高圧中継警報
自動調圧中に中継圧力が高く、エンジン回転数をアイドリングまで下げても設定圧力まで下げられないとき、ブザー音とともに液晶ディスプレイ内に高圧中継警告表示が点滅すること。
- (4) 低圧中継警報
中継水量が不足しているとき、ブザー音とともに液晶ディスプレイ内に低圧中継警告表示が点滅すること。
- (5) 不具合発生時の対応
不具合が発生した場合に、原因の特定を容易にするため、液晶ディスプレイ内で確認できる機能を設けること。
- (6) 真空テスト
点検を確実にするため、真空漏れを容易に判別できる機能を設けること。
- (7) 落水警報装置
揚水待機時の想定外の落水を防止するために、揚水完了後又はポンプ作動後、落水した場合には警報を表示すること。

第12 吸水口

吸水口は、75mmボールコック（ストレーナ付）とし、車体両側に各1個設け、75mm×10mの吸管を常時接続する構造とする。また、連続呼水装置を設け、呼水確認窓付とする。吸管収納時、車体側に損傷防止のための保護材を取り付けること。レバーは左右とも車両前方向で「開」とし「開」「閉」の表示板を設けることとする。

第13 放水口

放水口は、65mmボールコックとし、マルチ（50mm、65mm兼用）放口金具を車両両側に各2個設ける。レバーは左右とも車両前方向で「開」とし「開」「閉」の表示板を設けることとする。

第14 中継吸口

中継口は、65mmボールコック（ストレーナ付）とし、車体両側に各1個設ける。レバーは左右とも車両前方向で「開」とし「開」「閉」の表示板を設けることとする。

第15 燃料タンク

燃料タンクは、重心バランスを考慮し、可能な限り低い位置とすること。また、給油口は、可能な限り低い位置とし、その付近に油種及び燃料タンクの容量を記載した名板を取り付けること。（詳細別途協議）

第16 キャブ

1 キャブ外装

- (1) キャブは、シャシ固有の鋼板製ダブルキャブで、電動油圧式チルト装置を設けること。また、キャブのチルト部は、必要により補強し、落下防止の支え棒等を設けること。
- (2) キャブ天井に全高制限を考慮したスピーカー付き赤色警光灯及びモーターサイレンを各1個取り付けること。
- (3) 赤色点滅灯をキャブ前面及び車両後部に各2個取り付け、赤色警光灯と連動させること。なお、車両後部に取り付ける赤色点滅灯は、プロテクター付きとすること。
- (4) キャブ後部の窓ガラスを金属製に変更するとともに、キャブ後端を延長加工し、空気呼吸器の収納スペースを確保すること。また、キャブ内後部座席スペースが可能な限り広く取れるようにすること。
- (5) 各ドアのフェンダー部及びステップ蹴り込み部にアルミ縞板を張ること。
- (6) 消防章（台座付）を車両前面中央に取り付けること。
- (7) フロントバンパーを前部に張り出し、キャブ前面の整備清掃時の足場となるよう、上面にアルミ縞板を張ること。また、フロントガラス上部付近に清掃用の手すり（ステンレス製）を2個取り付けること。
- (8) 乗降用の手すり（ステンレス製）をキャブの両側面に取り付けること。
- (9) 牽引フックを車両前部に設けること。
- (10) 各ドア開放時にドアが開放していることを夜間後方から確認できるよう、各ドアの視認しやすい位置に超高輝度反射シートを貼り付けること。
- (11) 常にバッテリーを最良の状態に保つバッテリー管理器を設置すること。また、バッテリー管理器及びオイルパンヒーター（バッテリー管理器と兼用）は、防雨対策を施したマグネット式とし、オイルパンヒーターには、ON・OFFスイッチを設けること。なお、車体側差込口付近に通電ランプを設けること。（詳細別途協議）

2 キャブ内装

- (1) 座席は、前部2席、後部3席とし、防汚シートカバーを設けること。
- (2) 助手席の背もたれに埋込式の空気呼吸器取付装置を設けること。
- (3) 後部座席座面は、フラットシートとし、座面は常時座れる状態であり、跳ね上げが可能な構造とすること。また、後部座席下部に資機材等が収納できるものとし、両側面に扉を設けること。
- (4) 後部座席後方に空気呼吸器取付装置を3式取り付け、付近に面体フックを3個取り付けること。
- (5) 後部座席前方に手すりを設け、可動式のビニール保護付きS字フックを8個設けること。
- (6) 地図等を収納するボックス（A3サイズ）をキャブ内中央手すり付近に設けるとともに、ボックスの左右外側にLED誘導棒が収納できる収納枠を設けること。
- (7) 運転席と助手席の間にセンターコンソールボックスを設けること。センターコンソールボックス付近にインバータ装置を設け100V電源が使用できること。また、付近にAC100Vコンセント（2口）を設けること。
- (8) フロントパネル又はセンターコンソールボックス付近に電子サイレンアンプ（専用マイク2個付）、無線機、各種スイッチ類（機能集中型10連操作スイッチ）及び車両動態管理装置を強固に取り付けること。（位置別途協議）なお、電子サイレンアンプ用専用マイクは、助手席用と後部座席用のものをセンターコンソール又は後部座席前方付近に取り付け

- ること。(位置別途協議)
- (9) キャブ内天井にLED照明灯を設け、ドア連動及び単独切替スイッチを設けること。また、助手席左上部及び後部座席左右にフレキシブルタイプのスイッチ付きLEDマップランプを設けること。
- (10) キャブ内に携帯拡声器を固定する装置を取り付けること。(位置別途協議)
- (11) 運転席等でシャッター(両側面及び後部)の開閉状態が確認できる装置を取り付けること。なお、不完全の場合は、警告灯及び警報音を発すること。
- (12) 運転席付近に車両総重量、全長、全幅及び全高を記したプレートを設けること。
- (13) GPSナビゲーションシステムを取り付けること。
- (14) 後退警報ブザーをスイッチ付きで設けること。
- (15) 各ドアの内側にドア開放時の足元灯(LED)を設けること。

第17 車体の艤装

- 1 艤装は総合的な重量軽減、車両重量のバランスを考慮して制作すること。
- 2 車両の重要な点検箇所及び主要な部分の点検整備に関して、工具類を使用するためのスペースを確保するとともに、必要箇所には点検口又は点検扉を設けること。
- 3 耐久性、防水性を有するバーハンドル式アルミシャッター(鍵付き)を左右側面に各2枚、後面に1枚設け、開閉は任意の位置で停止できること。また、シャッターレール沿いにLED埋め込み庫内灯を設け、夜間における資機材等の確認が容易にできること。
- 4 シャッター内には、本仕様書別表1に掲げる資機材が収まるようレイアウト設計を行うこととし、必要に応じて可動式棚や展開パネル、引出装置、落下防止手すり、仕切り板、収納箱などを設けること。(詳細別途協議)
- 5 各ステップは防錆性能を有したアルミ縞板とし、100kg以上の荷重にも耐えられること。
- 6 開閉式ステップ等の外部へ開く扉は内側にアルミ縞板を張り、展開時に開いた状態であることが視認しやすいよう超高輝度反射シートを周囲に貼り付けること。また、展開時における各ステップの高さは可能な限り揃えること。
- 7 各金属板の外周は内折れ加工とし、危険のない構造とすること。
- 8 車両上部の周囲で防錆及び耐久性に優れたFRP又はアルミ製の立ち上げ(アオリ)を設けること。
- 9 左右側面上部に埋め込み式の標識灯を各1個取り付け、作動はスモールランプと連動させること。(位置は別途協議)
- 10 左右側面上部に赤色点滅灯を各2個取り付け、作動は、赤色警光灯と連動させること。
- 11 左右側面上部及び車体後部に作業灯を各2個取り付けること。なお、車体後部に取り付ける作業灯は、プロテクター付きとすることとし、作動はキャブ内にメインスイッチを設け、車体後部にタンブラー式スイッチを保護棒付きで設けること。
- 12 左右前方シャッター内は次のとおりとすること。(詳細別途協議)
 - (1) ポンプ操作部上部を資機材収納スペースとすることとし、ホース、ホースバッグ等が収納できること。
 - (2) 資機材収納スペースの底面にはポンプ室点検用の扉を設け、その上に樹脂製のこを敷くこと。また、走行中に収納物が落下しない構造とすること。
 - (3) ポンプ操作部の床は、アルミ縞板張りとすること。また、床面に傾斜や水抜き穴を設けるなど水が溜まらないようにすること。
 - (4) ポンプ操作部上部の資機材収納スペースには、夜間における資機材等の確認が容易にできるようLED埋め込み庫内灯を設けること。
- 13 左右リアタイヤ前のボックス扉は、下開きの展開式チェーンレスステップ(ロック付き)とすること。なお、扉内にスペースが取れる場合は資機材収納スペースとすること。
- 14 左右リアフェンダーは、下開きで展開式のチェーンレスステップ(ロック付き)とすること。

- 15 左右後方シャッター内は次のとおりとすること。（詳細別途協議）
 - (1) 吸管ボックスとすること。
 - (2) 左右吸管ボックスの上部扉は、バーハンドル式アルミシャッターとし、下部扉は下開きの展開式のチェーンレスステップ（ロック付き）とすること。
 - (3) 左右吸管ボックスに吸管スパナ及び吸管まくら木を固定すること。
 - (4) 左右吸管ボックスの床は、アルミ縞板張りとすること。また、床面に傾斜や水抜き穴を設けるなど水が溜まらないようにすること。
 - (5) 右吸管ボックスに二又分岐、スタンドパイプ、丸型消火栓開閉金具、金てこを固定すること。
 - (6) 左吸管ボックスに消火器、掛矢、金大ハンマーを固定すること。
- 16 車両後部のシャッター内は次のとおりとすること。（詳細別途協議）
 - (1) 電動アシスト式ホースカー及び電動油圧昇降装置を取り付けること。
 - (2) 上段に空気ボンベ4本をワンタッチ式で脱着可能な収納枠（ステンレス製）に収納できること。
 - (3) 可搬ポンプ、スコップ、ボルトクリッパー、ホースブリッジ等が収納できること。また、走行中に収納物が落下しない構造とすること。
- 17 車体上部は次のとおりとすること。
 - (1) フラットな構造でアルミ縞板張りとし、キャブとの隙間をできるだけ少なくし、前後に可能な範囲でステンレス製の2段手すりを設けること。
 - (2) キャブ後方右上部にLED照明灯（伸縮回転式）を取り付け、地上から操作できるタンブラー式スイッチを保護棒付で照明灯の近くに取り付けること。（詳細別途協議）
 - (3) 折りたたみ式はしごを手動式の昇降装置に取り付け、地上から容易に取り出せる構造とすること。
 - (4) 防錆対策を施したアルミ縞板製資機材ボックスを設けること。扉は上開き、外側上部にステンレス製の蝶番、ストッパー付き（ダンパー）、内部の底面に樹脂製のこを敷くこと。（大きさ等は別途協議）
- 18 とび口2本を取り付けること。（位置別途協議）
- 19 バッテリー部は工具等を使用せずに引き出すことが可能な引き出し式とし、容易に点検ができる構造とすること。
- 20 車体右前部に昇降用ステップ5段を、後部に昇降用タラップ5段を取り付けること。
- 21 各操作部（ハンドル、レバー、スイッチ等）には、名称及び操作方法等を明記すること。
- 22 左右後輪付近にLED式路肩灯を設けること。作動はスモールランプ連動とすること。
- 23 左右後部下部にLED式サイドマーカーランプを取り付けること。
- 24 電動アシスト式ホースカー及び電動油圧昇降装置は次によること。
 - (1) 65mmホースを8本以上収容できる構造とし、ブレーキ付きとすること。
 - (2) ホースの収納が容易にできるよう上扉の取り外し等ができること。
 - (3) 異形媒介金具、二又分岐、管そうを取り付けられる構造とすること。
 - (4) ホースカー積載台は、ホースカーを確実に固定でき、重量に耐えられる強固な構造とすること。
 - (5) ホースカー固定装置は、ホースカーを強固に固定し、走行中に落下しない構造とすること。
 - (6) 電動油圧昇降装置は、昇降時に警報を発する安全装置付きとし、容易に操作できる構造とすること。なお、故障時には手動操作ができる構造とすること。
 - (7) ホースカーが、未収納の場合は、運転席等で警告灯及び警報音を発すること。

第18 消防用ホース及び結合金具

- 1 消防用ホースは、「消防用ホースの技術上の規格を定める省令」（平成25年総務省令第22号）の規格に適合したことを示す自主表示（「消」マーク）が付されたものとし、加えて日

本消防検定協会の型式適合評価を受けて合格した表示（「NS」マーク）を付したものとすること。

- 2 結合金具は、「消防用ホースに使用する差込式又はねじ式の結合金具及び消防用吸管に使用するねじ式の結合金具の技術上の規格を定める省令」（平成25年総務省令第23号）の規格に適合したことを示す自主表示（「消」マーク）を付したものとし、加えて日本消防検定協会の型式適合評価を受けて合格した表示（「NS」マーク）を付したものとすること。
- 3 消防用ホースと結合金具の装着部には、日本消防検定協会の「装着部に対する認定試験」に合格した表示（「認」マーク）が付されていること。

第19 AVM・ドライブレコーダー・無線機移設

- 1 車外無線送受話器ボックスをキャブ左右側面後部に各1個設け、送受話器及び音量調整スイッチを設けること。また、電話装置まで配線するとともにキャブ内に電話装置用スピーカー（車内外）切り替えスイッチを設けること。
- 2 無線アンテナは、キャブ上部又は周囲に固定し、同軸ケーブルをキャブ内まで配線すること。
- 3 消防無線機の事務手続きは、受注者で行うこと。
- 4 消防無線機付近に対空文字（黒文字）入りのアクリルプレート（縦20mm、横70mm）を付すること。（位置別途協議）
- 5 ドライブレコーダーの電源は、ACC以上で通電すること。
- 6 車外無線送受話器ボックス付近に、作業時においても十分聞き取れる外部スピーカー（車体内埋込式）を左右（各1式）に取り付けること。
- 7 更新対象車両のAVM（車両動態管理装置（富士通ゼネラル製））（以下「AVM」という。）及び消防無線機を新車に移設し、ドライブレコーダーは新設すること。また、本市が指定する車両（車両名：東広島4、登録番号：広島800さ9806）のAVM、消防無線機及びドライブレコーダーを更新対象車両に移設すること。
なお、AVM及び消防無線機の電源は、メインスイッチで起動すること。
- 8 移設の日程に関しては、本市担当者と協議の上、決定すること。

第20 塗装及び記入文字

- 1 塗装
 - (1) 車両（左右側面各2枚、後面1枚のアルミシャッター含む）は朱色とし、塗料はVOC（揮発性有機溶剤）削減、CO2削減、環境負荷物質を含まない（特化則対応）環境配慮型ハイソリッド二液型ウレタン樹脂赤色塗料により2回以上の塗装を実施し、その上には光沢と耐候性向上のためのクリア塗料を2回以上施すこと。塗装後は磨き作業により塗装表面を整えること。
 - (2) 鋼材部分の下地塗装は充分錆落としの上、防錆性能が高く長期にわたり錆の発生を防ぐ二液型エポキシプライマーを使用し、パテ、サフェーサを施工後、十分に乾燥させること。
 - (3) 資機材収納部内面は、アンダーコーティングの上、シルバー塗装を施すこと。
 - (4) 車体下まわりは、黒色塗装により腐食に耐えるように被覆すること。
- 2 記入文字

記入文字の書体は、丸ゴシック体とし、記入文字は次のとおりとすること。
なお、記載している文字の大きさを基準とし、各記入位置に対しバランスよく表示すること。詳細については、別途協議とする。

 - (1) キャブ左右ドア部及び後面アルミシャッター部
「東広島市消防局」 3箇所記入すること。
書き方 左書き（左から右とする。）
文字色 白文字

- 大きさ（1文字当たり） 縦100mm×横100mm
- (2) キャブ左右フロントドア
車両記号「東広消251」 2箇所記入すること。
書き方 左書き（左から右とする。）
文字色 白文字
大きさ（1文字当たり） 縦70mm×横60mm
- (3) 標識灯
「東広消251」と記入すること。
書き方 左書き（左から右とする。）
文字色 黒文字
大きさ 現物合せ
- (4) 車体上部
対空文字「東広島P251」と記入すること。
書き方 左書き（助手席側から運転席側に向けて記入する。）
文字色 白文字
大きさ 縦600mm×横1,200mmの範囲に7文字
- (5) 車体前部、側面及び後部
車体前部、側面及び後部のデザイン及び文字については、第2提出書類の1で定める書類の提出までに本市が素案を掲示し、受注者はその素案を元に施工すること。（詳細は別途協議）
※ 令和元年度以降の更新車両（救助工作車等）を参考とすること。
- (6) ステッカー
車両側面フロントドア外側中央付近に別表2に定めるエンブレムのステッカーを貼り付けること。

第21 取付品、付属品、積載品及び取付位置

取付品、付属品、積載品及び取付位置等については、別表1のとおりとし、取り付けは堅ろうで機能確実かつ操作しやすいものとする。

また、走行中の振動その他により移動又は破損等を生じないように安全に固定させ、かつ、容易に積み下ろしができるように積載し、細部については本市担当者の指示を受けること。

第22 検査

- 1 受注者は、製作工程表に基づき、文書及び写真等で本市担当者に報告を行い、次の確認・検査を受けることとする。ただし、本市担当者において現地検査が必要と判断した場合は、現地において検査を受けることとする。

なお、公的機関の認定品又は試験成績書があるものについては、これを省略する場合がある。

(1) 中間検査

- ア 艤装工程表に基づく進行状況
- イ 仕様書、承認図及び協議決定事項に基づく事項
- ウ 組立て・板金・溶接等の仕上げ状況
- エ その他本市が必要と認める事項

なお、中間確認における指摘事項及び未施工部分については、随時、本市担当者に文書及び写真等で報告すること。

(2) 完成検査

- ア 完成車重量測定検査（検査書の提出で可とする。）
- イ 完成車転覆角度検査（検査書の提出で可とする。）

- ウ 完成車走行検査（悪路又は100km走行）
 - エ 車体の構造及び艤装状況の検査
 - オ 積載品・装備品の装着、架装状況及び品数の確認
 - カ その他本市が必要と認める検査
- 2 検査の日程等については、協議の上決定するものとする。
 - 3 「消防車両の安全基準について」において示されている「第3者機関による認証」は、日本消防検定協会による安全基準への適合の検証を行うこと。

第23 登録の手続き

- 1 車両登録は、発注者が行う完成検査前までに、受注者が行うものとし、登録に関する一切の経費は受注者が負担する。ただし、車両登録に関する登録手数料（印紙代）、自動車重量税、自動車損害賠償責任保険の費用及び自動車リサイクル法に基づくリサイクル料金は、受注者が立て替え払いし、完成検査終了後に別途発注者がこれを受注者に支払うものとする。
- 2 受注者は、納入前に広島県公安委員会へ緊急車両届出確認証を提出し承認を受けること。
- 3 下表の旧車両1台の一時抹消登録をすること。（詳細別途協議）
 - (1) 旧車両の一時抹消登録の手続きは、受注者が行うものとする。
 - (2) 一時抹消登録の手続き完了後は、速やかに登録識別情報等通知書を東広島市消防局消防総務課へ提出すること。
 - (3) 旧車両の自動車検査証の有効期限は、次のとおり。

車名	登録番号	初度登録年月	有効期限	車台番号	型式
いすゞ	広島800 さ9806	平成17年3月	令和9年3月9日	NKS81-7000111	PB-NKS81N

第24 その他

- 1 納入時まで同等以上の性能を有する新開発・販売された資機材等を備える場合は、本市担当者と協議し、承認を得ること。
- 2 「消防車両の安全基準について」に基づき、受注者は納入時に納車講習、納入後には安全操作技能講習及び点検整備講習を実施することとする。納入後別途協議の上、日程を決定するものとする。
- 3 納入場所までの運搬費は、受注者が負担するものとする。
- 4 本仕様書に記載がない場合であってもメーカーが公表した標準装備は、全て装備すること。

第25 問い合わせ先（発注担当課）

東広島市消防局 消防総務課 消防施設係
 電話 082-422-6062
 F A X 082-423-0363
 E-mail hgh226062@city.higashihiroshima.lg.jp

別表 1 取付品及び装備品

番号	品名	規格・型式等	数量	取付け位置等
1	サンバイザー	標準装備品	2 個	運転席及び助手席各 1 個
2	フロアマット	ゴム製(標準装備品)	4 枚	前後席足元各 1 枚
3	サイドバイザー	標準装備品	4 個	各ドア 1 個
4	泥除けゴム	標準装備品	4 枚	全輪各 1 枚
5	キャブチルト装置	電動油圧式・警告音付	1 式	
6	GPS ナビゲーションシステム (バックモニターカメラを含む)	AM・FM ラジオ付き、走行中においても助手席から操作できること。(TV チューナーレス又は TV が映らない措置を講ずること)	1 式	キャブ内
7	オイルパンヒーター	マグネット式、コード 10m、バッテリー管理器と兼用	1 式	
8	スタッドレスタイヤ	ホイール付 (納車時装着のタイヤは別途協議)	6 本	
9	タイヤチェーン	シングル (金属製)	1 式	
10	自動車用停止表示板	JIS 規格	1 個	
11	ポンプ圧力計	径 100mm 丸型	2 個	ポンプ室左右側面
12	ポンプ連成計	径 100mm 丸型	2 個	ポンプ室左右側面
13	エンジン回転計	標準装備品	1 個	
14	エンジン油温計	標準装備品	1 個	
15	真空・揚水表示ディスプレイ (多目的表示液晶ディスプレイ)	7 インチ以上ワイドタイプ高輝度低反射パネル、自動調光機能付き	2 式	ポンプ室左右側面
16	流量計	真空・揚水表示ディスプレイに表示	1 式	
17	積算流量計	真空・揚水表示ディスプレイに表示	1 式	
18	ポンプ回転計	真空・揚水表示ディスプレイに表示	1 式	
19	ポンプ使用時間計	真空・揚水表示ディスプレイに表示	1 式	
20	赤色警光灯	ウィレン社製 (30 年保証) CVS10R24 1220 mm	1 個	キャブ天井
21	赤色点滅灯	ウィレン社製 (30 年保証) M7FCR24	8 個	車体前面、後面、左右側面各 2 個
22	モーターサイレン	大阪サイレン社製 5SA 型	1 個	キャブ天井
23	標識灯	—	2 個	車体左右側面各 1 個
24	作業灯	ウィレン社製 (30 年保証) M7ZC24	6 個	車体後面、左右側面各 2 個
25	照明灯	ウィレン社製 (30 年保証) PCH14-P 伸縮回転式 LED、保護棒タンブラースイッチ式	1 式	キャブ後方右上部
26	ポンプ操作部灯	LED 式、MYS-P-L18-W 又は CL-SLPH4	2 式	ポンプ室左右側面
27	電子サイレン	大阪サイレン社製、TSK-D152 (専用マイク 2 個付き)	1 式	キャブ内
28	10 連スイッチ	大阪サイレン社製 SBW-D1	1 式	キャブ内
29	AVM・無線機	本市から支給	1 式	キャブ内
30	ドライブレコーダー	ビテル BU-DRHD640T (付属品含む) 専用 SD カード (128GB) × 2 枚	1 式	キャブ内

31	無線機用スピーカー（車内、車外）	標準装備品	3式	
32	後退警報器	解除スイッチ付き	1式	
33	キャブ内地図用ボックス	A3タイプ	1個	キャブ内
34	キャブ室内灯	LED式	1個	キャブ内天井
35	マップランプ	LED式 フレキシブルタイプ	3個	助手席左側、後部座席左右
36	隊員席握り棒	ステンレス製	1式	キャブ内
37	空気呼吸器取付装置	前席：レスキューシート（同等品可）、後席：クイックホルダー	4式	助手席1個、後部座席後部3個
38	呼吸器面体掛フック	L型フック	3個	後部座席後部
39	隊員席下部収納ボックス	側面扉付	2個	後部座席座面下
40	S字フック	SUS製、消音効果のあるビニール保護付き	8個	キャブ内手すり
41	乗降用手すり	ステンレス製	4個	キャブ側面左右各2個
42	清掃用手すり	ステンレス製	2個	キャブ前方
43	牽引フック	標準装備品	1個	車体前部
44	消防章（台座付）	150mm	1式	キャブ前方中央
45	バッテリー管理器	マグネット式	1個	
46	車外無線送話装置	標準装備品	2式	左右側面
47	吸管	ライフレックス、75mm×10m、AC金具、可搬ポンプ兼用	2本	
48	吸口ストレーナ	75mm用プラスチック製	2個	
49	吸管ストレーナ	75mm用プラスチック製	2個	
50	吸管ちりよけかご	75mm用プラスチック製、アタッチメント付	2個	
51	吸口エルボ	YONE社製 スーパースイングエルボ	2式	
52	吸管まくら木	75mm用ゴム製	2個	
53	吸管ロープ	10mm×15m クレモナ製	2本	
54	中継口ストレーナ	プラスチック製	2個	
55	吸管スパナ	金属製（標準装備品）	2本	
56	車輪止	ゴム製	2個	
57	消火器	粉末ABC自動車用消火器（20型）	1本	
58	丸型消火栓開閉金具	止水弁開閉金具兼用	1本	
59	消火栓金具	YONE社製、75mmメスネジ×65mm差込メス	2個	
60	とび口	1,800mm	2本	
61	金てこ	全長900mm以上1,000mm以下	1本	
62	スコップ	剣先	1丁	
63	金大ハンマー	全長900mm	1個	
64	掛矢	全長900mm 木製	1個	
65	スタンドパイプ	YONE社製、標準サイズ、単口引上式	1本	
66	管そう（ガンタイプ）	クアドラフォグノズル NH-50QF	2本	
67	管そう	正管そう PP-65A・EXS	1本	
68	スムーズノズル	口径20mm	4個	
69	放口媒介金具	YONE社製、AN-65MC、65・50mmオス	4個	

		×65 メスネジ		
70	ポンプ工具	標準装備品	1 式	
71	二又分岐管	YONE 社製、WB-65MC、異形媒介金具 65mm オス×50mm メス付き	2 個	
72	ホースブリッジ	65mm ホースまで対応、高輝度反射テープ（黄色）付き	2 組	
73	ワイヤー	牽引用 12mm×5m、12mm×3m	各 1 本	
74	中継用媒介金具	YONE 社製、65mm メスネジ×65mm 差込メス	2 個	
75	媒介金具	65 mmメスネジ×75 mmネジオス	1 個	可搬ポンプ用
76	媒介金具	65mm 差込メス×50mm 差込オス	2 個	
77	媒介金具	50mm 差込メス×65mm 差込オス	2 個	
78	媒介金具	差込オス×差込オス（マルチタイプ 65 mm、50 mm対応）	1 個	
79	媒介金具	50mm 差込メス×50mm 差込メス	1 個	
80	空気呼吸器	プレッシャデマンド型、ライフゼム A1-12、CX 面体付き（空気ボンベ無し）	4 式	
81	面体拡声器	ダイレクト型 ESP-SD5-DCX	4 個	
82	ホースバッグ	50 mmホース 3 本収納タイプ、バッグ 中央部に「東広島消防」の名入り	5 個	
83	携帯拡声器	かるーいホン TD-503R、メガホンホルダー付き	1 個	キャブ内固定装置
84	ホースカー	電動アシスト式、東京サイレン社製 TS-R120 又はモリタ社製 E-Carry01	1 式	車両後部シャッター内
85	動力昇降装置	電動油圧式	1 式	車両後部シャッター内
86	ホース漏水応急バンド	マジックテープ式	10 個	
87	携帯無線機用ハーネス	FS・JAPAN 社製、アラミドベスト BS3、 色：黒、背面に「東広島市消防局」 の名入り	3 着	
88	三角コーン	伸縮式	4 個	
89	万能斧	レスキューアックス、SD-01 型、革 製ホルスター付き	1 個	
90	誘導棒	LED 式（赤色）電池入り	2 本	
91	AC/DC インバーター	正弦波 700W以上	1 式	
92	コンセント	A C 100 V （2 口以上）	1 式	
93	救命浮環	高階救命器具社製 P-160 型、15m 救命索付き（同等品可）	1 個	
94	スローラインバックセット	CMC レスキュー社製、バッククロス、約 23m、 NFPA スローライン	1 式	
95	ボルトクリッパー	MCC 社製 ZBC-600A	1 本	
96	車両キー（予備キー）		2 本	
97	デジタルカメラ	RICOH 社製 WG-80-OR、SD カード （2GB）、収納ケース、予備バッテ リー1 個付き	1 式	
98	資機材ボックス	アルミ縞板製、大きさ別途協議	1 式	車体上部

99	折りたたみ式はしご	関東梯子社製 KS-2-42	1脚	
100	泡消火薬剤	グリーンアルコエース 3-3.6、メガフォーム又はラピタックIV	2個	
101	エアフォームノズル	深田工業社製 RP-200	1個	
102	事故車両用歯止め	ゴム製	2個	
103	検電器	HEV-750D	1個	
104	低電圧用手袋	ヨツギ社製 YS-102-1	3双	
105	絶縁スパナ	8mm・10mm・12mm	各1本	
106	フローティングストレーナ	トーハツ社製、フローティングストレーナS、75mmツノ式	1個	
107	蛍光チョッキ	FS・JAPAN社製、FS型リフレクションベスト、色：オレンジ、背面に「東広島市消防局」の名入り	3着	
108	メジャー (50m)	積水樹脂社製 エスロン巻尺	1個	
109	スケール (5m)	スライド式ロック、ベルトクリップ、ストラップ付き	1個	
110	レーザー距離計	マキタ社製 LD030P	1個	
111	ハンディライト	BLACKWOLF社製、ワールダーライト1200 (同等品可) 専用リチウムイオン電池、充電ケーブル付き	3式	
112	携帯警報器	モーションスカウト TR	4個	
113	防火水槽開閉金具	フック式マンホールキー	4本	
114	立入禁止テープ	日東エルマテリアル社製 立入禁止テープ 50m	3個	
115	消火栓蓋開閉用ジャッキ一式	日本スピードショア社製、開けるんだ (専用バッグ付き)	1個	
116	サルベージシート	3.0m×3.0m	1枚	
117	非陽圧式化学防護服	シゲマツ社製 PS-480L、サイズ：大2着、中1着、手袋、収納袋付	3式	
118	ガソリン携行缶	メルテック ガソリン携行缶 10L、消防法適合品	1個	
119	携行缶	5L (チェーンソー用)	1個	
120	投光器	Nomad360 又は ML004G (専用三脚、バッテリー-BL4050F×2個、1口用急速充電器、三脚用収納袋)	1式	
121	工具セット	KTC社製 SK3560WZR	1個	
122	狭所巻きバンド	ホースバンド OH-1型	2個	
123	救急用資機材バック	FS・JAPAN社製、FS携帯酸素バッグ、「東広島市消防局」の名入り	1個	
124	プライバシーシート	クイックプライバシーシート V4	1個	
125	可搬ポンプ	C-1級 トーハツ社製 VF21BS 又はシバウラ社製 FT310	1台	
126	チェーンソー一式	STIHL社製 MS 170C-E	1個	
127	チェーンソー防護服	ハスクバーナ社製 チャップスII、ファンクションS サイズ：M	1着	

別表 2

1 ステッカーサイズ

種 別	サイズ
ステッカー	タテ 20.0 cm ヨコ 18.0 cm

2 デザインは、次のとおりとする。（必要に応じて、本市担当者と協議すること。）

【見本】

